



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 篤史
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 前原 聡 (TEL) 03-3562-7521
定時株主総会開催予定日 2021年11月26日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
有価証券報告書提出予定日 2021年11月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	18,311	4.2	△71	—	△78	—	△124	—
2020年8月期	17,569	△15.3	101	△81.3	81	△84.3	△189	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	△49.02	—	△5.7	△0.7	△0.3
2020年8月期	△76.01	—	△7.9	0.7	0.5

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 一百万円 2020年8月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	10,130	2,174	20.7	824.75
2020年8月期	10,419	2,340	21.6	892.89

(参考) 自己資本 2021年8月期 2,100百万円 2020年8月期 2,258百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	△360	△112	△426	2,222
2020年8月期	700	△100	94	3,122

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00	37	—	1.5
2021年8月期	—	8.50	—	6.50	15.00	38	—	1.7
2022年8月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00		59.7	

3. 2022年8月期の業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,685	—	184	—	179	—	102	—	40.04
通期	13,213	—	171	—	149	—	71	—	27.87

(注) 2022年8月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、売上高の対前期及び対前年同四半期増減率は記載していません。なお、総額売上高(これまでの計上方法の売上高)は、第2四半期(累計)において9,688百万円(3.0%減)、通期において19,150百万円(4.5%増)を予想しております。「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数は、2021年8月31日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年8月期	2,560,600株	2020年8月期	2,544,800株
2021年8月期	13,649株	2020年8月期	14,999株
2021年8月期	2,538,459株	2020年8月期	2,487,784株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度においては、新型コロナウイルス感染症が再拡大し、1月には第2回緊急事態宣言、4月には第3回緊急事態宣言が発令され、当社の多くの店舗は、4月下旬から5月末にかけて、休業や時間短縮を余儀なくされました。とりわけ大型連休を含む5月の営業状況は、終日休業が2店舗、土日休業が14店舗、営業時間短縮が17店舗、通常営業が47店舗と大きな影響を受けました。さらに7月中旬から8月にかけて第4回目となる緊急事態宣言があり、対象地域の拡大や期間の延長がありました。

このような状況下、当社は、お客様及び従業員の安全を第一に感染症対策を徹底するとともに、今後の中長期的な成長へ向けて、粗利率の向上、宝飾品・オリジナルブランドの販売強化、店舗の販売体制の支援強化、デジタル・IT投資による業務効率の改善、販売員の育成並びにEC（ネット通販）やライブ販売等の非接触型販売の拡大に取り組んでまいりました。

店舗展開といたしましては、2020年12月に北海道北斗市へ上磯店、2021年3月に宮城県に新利府店、同5月に埼玉県に川口店、同7月に北海道に旭川西店及び石川県に白山店を新規出店いたしました。川口店は、「最高の接客・最新の設備・最大の品揃え」をコンセプトとして、洋食器等の新カテゴリー商品も取り揃えた旗艦店であり、研修・教育店舗としても位置づけております。また、既存店舗の活性化として、9月に名古屋茶屋店、10月に岡崎店・京都桂川店を同一施設内において移転リニューアル改装をするとともに、4月には幕張新都心店の改装を実施いたしました。

一方、前年度末に決定いたしました不振店舗の閉店につきまして、2021年1月に Le Bonheur Parfait（以下、パルフェ）イオンレイクタウンmori店・パルフェ春日部店、2月にパルフェ名取店・北谷店、3月にパルフェトレッサ横浜店・パルフェ津田沼パルコ店、4月に昭島モリタウン店の合計7店舗を閉店いたしました。また、川口店の新規出店に合わせまして、イオンモール川口前川店を5月に閉店といたしました。これにより当事業年度末における店舗数は82店舗となりました。

営業施策につきましては、非接触型販売の取り組みとして、インターネットを通じたライブ販売を継続的に実施しました。また、対策強化店舗のレイアウト変更を実施するとともに、30周年記念セール、全店でのクーポンを活用した販促強化、販売スタッフへのインセンティブの機動的運用を図りました。

オリジナルブランドにつきましては、定番商品・人気商品を中心に重点販売商品の販促と宝飾部門の強化及びブランド知名度の向上に努めました。また、商品の一部について、バングラディッシュの工場に生産を委託するなど、社会問題の解決を図る商品開発にも取り組みました。

ECにつきましては、中長期的な自社EC販売の強化を図るべく、自社サイトの改善等を進めております。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、オリジナルブランド商品を中心に重点販売商品の販促を強化したことで、売上高 3,747,326千円（前事業年度比 15.2%増）となりました。

- ・時計は、国産主力ブランドの展開を強化したほか、海外ブランド時計について重点ブランドを絞った販促企画を強化したことにより、高額品の落ち込みはあったものの、売上高 5,003,642千円（同 1.9%増）となりました。

- ・バッグ・小物は、人気ブランドの新規導入や30周年記念セール等の販促企画を実施し、人気小物商品等の販売強化に取り組んだことにより、一部の主力高額ブランドの落ち込みがあったものの、売上高 9,560,741千円（同 1.5%増）となりました。

（注）前期4月・5月においては、第1回緊急事態宣言による、全国的な当社店舗の休業が発生しております。

なお、上記のほか、特別損失として、緊急事態宣言に伴う休業要請により休業した店舗の固定費（人件費・減価償却費）9,600千円を店舗休業損失として計上したほか、閉店実施店舗の店舗閉鎖損失 9,759千円、閉店及び店舗の移転に伴う固定資産廃棄損 4,247千円、及び減損損失 14,776千円を計上いたしました。

一方、雇用調整助成金 1,397千円等を特別利益に計上いたしました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高は 18,311,710千円となり、前事業年度売上高 17,569,283千円に対し 4.2%増となりました。

営業損失は 71,858千円（前事業年度は営業利益 101,462千円）、経常損失は 78,727千円（前事業年度は経常利益 81,849千円）、当期純損失は 124,446千円（前事業年度は当期純損失 189,108千円）となりました。

（注）前事業年度に減損損失を含めた 412,786千円の特別損失を計上いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、8,196,508千円となり、前事業年度末と比較して454,795千円減少しております。これは主として、商品が479,081千円増加したものの、現金及び預金が899,896千円減少、売掛金が107,604千円減少したことが要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、1,934,278千円となり、前事業年度末と比較して165,914千円増加しております。これは主として、敷金及び保証金が21,608千円減少、建設仮勘定が17,776千円減少したものの、建物が158,003千円増加、繰延税金資産が7,785千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、3,506,479千円となり、前事業年度末と比較して26,436千円減少しております。これは主として、仕入債務(支払手形、買掛金、電子記録債務の合計)が118,470千円増加したものの、未払消費税等が171,685千円減少したことが要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、4,449,562千円となり、前事業年度末と比較して96,323千円減少しております。これは主として、資産除去債務が125,789千円増加したものの、長期借入金が205,769千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、2,174,743千円となり、前事業年度末と比較して166,120千円減少しております。これは主として、利益剰余金が184,060千円減少したことが要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ899,897千円減少し、2,222,437千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は360,297千円(前事業年度は700,398千円の収入)となりました。これは、主として減価償却費の増加174,923千円、仕入債務の増加118,470千円、売上債権の減少107,165千円、法人税等の還付額85,148千円があった一方で、新規出店等に伴うたな卸資産の増加466,197千円、未払消費税等の減少171,685千円、法人税等の支払額110,727千円、税引前当期純損失115,187千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は112,790千円(前事業年度は100,384千円の支出)となりました。これは、主として敷金及び保証金の回収による収入41,422千円があった一方で、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得70,024千円、敷金及び保証金の差入32,289千円、定期預金の預入による支出12,006千円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は426,809千円(前事業年度は94,739千円の収入)となりました。これは、長期借入れによる収入1,950,000千円があった一方で、長期借入金の返済2,099,636千円、長期未払金の支払238,768千円、配当金の支払59,326千円、自己株式の取得による支出28,620千円があったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響について、先行き不透明な状況が続くものと予想され、依然厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような環境において当社は、業績の改善に最大限注力し黒字回復へ向けて、地域特性を考慮した販売価格の見直しにより利益率の改善を図るとともに、引き続き宝飾部門の強化、店舗の販売体制の支援強化を図ってまいります。また、デジタル・IT投資関連につきましては、スマートフォンアプリの導入等の施策を積極的に進めるとともに、業務効率の改善と販売員の育成強化に努めてまいります。また、EC及びライブ販売等の非接触型販売の拡大も引き続き強化してまいります。

店舗展開については、コロナ後の外部環境を踏まえつつも、未出店エリアを中心に新規出店を継続し、上記の営業政策とあわせて収益力の向上を図ってまいります。

通期の業績の見通しといたしましては、売上高 13,213百万円、営業利益 171百万円、経常利益 149百万円、当期純利益 71百万円を見込んでおります。2022年8月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用するため、上記の業績予想は適用後の金額となっております。

なお、総額売上高(これまでの計上方法による売上高)は、19,150百万円(4.5%増)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,349	2,375,453
売掛金	879,232	771,627
商品	4,326,418	4,805,499
貯蔵品	93,915	81,030
前払費用	66,446	102,710
その他	9,940	60,186
流動資産合計	8,651,303	8,196,508
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,954,126	2,077,327
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,381,847	△1,347,045
建物(純額)	572,278	730,282
構築物	388	388
減価償却累計額	△380	△384
構築物(純額)	7	3
工具、器具及び備品	1,646,088	1,654,082
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,451,856	△1,455,707
工具、器具及び備品(純額)	194,232	198,374
建設仮勘定	17,776	—
有形固定資産合計	784,295	928,660
無形固定資産		
ソフトウェア	14,333	9,970
ソフトウェア仮勘定	—	8,514
無形固定資産合計	14,333	18,484
投資その他の資産		
投資有価証券	46,386	59,780
出資金	50	50
長期前払費用	12,771	19,083
敷金及び保証金	647,697	626,089
繰延税金資産	185,244	193,030
長期預金	77,024	89,030
その他	560	70
投資その他の資産合計	969,734	987,132
固定資産合計	1,768,363	1,934,278
資産合計	10,419,666	10,130,786

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1,872	13,117
買掛金	860,087	714,937
電子記録債務	13,093	265,467
短期借入金	—	49,700
1年内返済予定の長期借入金	1,851,359	1,907,492
未払金	295,729	275,571
未払費用	157,413	152,693
未払法人税等	53,936	30,782
未払消費税等	171,685	—
前受金	19,172	18,733
預り金	10,390	9,974
賞与引当金	63,000	60,400
ポイント引当金	3,478	7,195
店舗閉鎖損失引当金	20,643	—
資産除去債務	10,880	—
その他	174	414
流動負債合計	3,532,916	3,506,479
固定負債		
長期借入金	3,996,801	3,791,032
資産除去債務	211,013	336,803
長期末払金	338,071	321,727
固定負債合計	4,545,885	4,449,562
負債合計	8,078,802	7,956,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,597	339,054
資本剰余金		
資本準備金	308,597	316,054
その他資本剰余金	2,835	5,708
資本剰余金合計	311,433	321,763
利益剰余金		
利益準備金	1,670	1,670
その他利益剰余金		
別途積立金	255,403	255,403
繰越利益剰余金	1,383,402	1,199,341
利益剰余金合計	1,640,475	1,456,415
自己株式	△12,533	△10,517
株主資本合計	2,270,972	2,106,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,132	△6,103
評価・換算差額等合計	△12,132	△6,103
新株予約権	82,023	74,131
純資産合計	2,340,863	2,174,743
負債純資産合計	10,419,666	10,130,786

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	17,569,283	18,311,710
売上原価		
商品期首たな卸高	4,704,574	4,326,418
当期商品仕入高	13,093,136	14,624,066
合計	17,797,711	18,950,485
商品期末たな卸高	4,326,418	4,805,499
商品売上原価	13,471,292	14,144,985
売上総利益	4,097,990	4,166,725
販売費及び一般管理費	3,996,527	4,238,583
営業利益又は営業損失(△)	101,462	△71,858
営業外収益		
受取利息	44	36
受取配当金	1,218	1,342
業務受託料	795	724
受取保険金	1,770	1,448
助成金収入	2,000	11,502
その他	1,835	3,229
営業外収益合計	7,665	18,282
営業外費用		
支払利息	26,273	24,324
その他	1,005	827
営業外費用合計	27,278	25,152
経常利益又は経常損失(△)	81,849	△78,727
特別利益		
雇用調整助成金	94,438	1,397
その他	—	528
特別利益合計	94,438	1,925
特別損失		
固定資産廃棄損	208	4,247
減損損失	273,599	14,776
店舗閉鎖損失	3,383	9,759
店舗閉鎖損失引当金繰入額	20,643	—
店舗休業損失	114,952	9,600
特別損失合計	412,786	38,384
税引前当期純損失(△)	△236,498	△115,187
法人税、住民税及び事業税	19,703	19,704
法人税等調整額	△67,094	△10,446
法人税等合計	△47,390	9,258
当期純損失(△)	△189,108	△124,446

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
						別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	325,397	302,397	10,350	312,747	1,670	255,403	1,636,838	1,893,912	△55,776	2,476,280
当期変動額										
新株の発行	6,200	6,200		6,200						12,400
剰余金の配当							△64,327	△64,327		△64,327
当期純損失(△)							△189,108	△189,108		△189,108
自己株式の取得									△21,390	△21,390
自己株式の処分			859	859					19,390	20,250
新株予約権の発行										-
新株予約権の行使			△8,373	△8,373					45,242	36,869
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										-
当期変動額合計	6,200	6,200	△7,514	△1,314	-	-	△253,436	△253,436	43,243	△205,307
当期末残高	331,597	308,597	2,835	311,433	1,670	255,403	1,383,402	1,640,475	△12,533	2,270,972

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△6,368	△6,368	106,152	2,576,064
当期変動額				
新株の発行				12,400
剰余金の配当				△64,327
当期純損失(△)				△189,108
自己株式の取得				△21,390
自己株式の処分				20,250
新株予約権の発行			12,686	12,686
新株予約権の行使			△36,815	53
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,764	△5,764		△5,764
当期変動額合計	△5,764	△5,764	△24,129	△235,200
当期末残高	△12,132	△12,132	82,023	2,340,863

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
						別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	331,597	308,597	2,835	311,433	1,670	255,403	1,383,402	1,640,475	△12,533	2,270,972
当期変動額										
新株の発行	7,457	7,457		7,457						14,915
剰余金の配当							△59,614	△59,614		△59,614
当期純損失(△)							△124,446	△124,446		△124,446
自己株式の取得									△28,620	△28,620
自己株式の処分			385	385					19,910	20,296
新株予約権の発行										-
新株予約権の行使			2,487	2,487					10,725	13,212
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										-
当期変動額合計	7,457	7,457	2,872	10,330	-	-	△184,060	△184,060	2,015	△164,256
当期末残高	339,054	316,054	5,708	321,763	1,670	255,403	1,199,341	1,456,415	△10,517	2,106,716

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
当期首残高	△12,132	△12,132	82,023	2,340,863
当期変動額				
新株の発行				14,915
剰余金の配当				△59,614
当期純損失(△)				△124,446
自己株式の取得				△28,620
自己株式の処分				20,296
新株予約権の発行			5,835	5,835
新株予約権の行使			△13,200	12
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	6,028	6,028	△528	5,500
当期変動額合計	6,028	6,028	△7,892	△166,120
当期末残高	△6,103	△6,103	74,131	2,174,743

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△236,498	△115,187
減価償却費	219,816	174,923
株式報酬費用	24,406	29,449
固定資産廃棄損	208	4,247
減損損失	273,599	14,776
店舗閉鎖損失	3,383	9,759
雇用調整助成金	△94,438	△1,397
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	20,643	△20,643
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,700	△2,600
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,651	3,716
受取利息及び受取配当金	△1,263	△1,378
支払利息	26,273	24,324
売上債権の増減額(△は増加)	468,746	107,165
たな卸資産の増減額(△は増加)	394,314	△466,197
仕入債務の増減額(△は減少)	△433,221	118,470
未払金の増減額(△は減少)	33,389	68,679
未払消費税等の増減額(△は減少)	104,110	△171,685
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△47,439
その他	△34,219	△41,818
小計	741,898	△312,834
利息及び配当金の受取額	1,263	1,378
利息の支払額	△26,733	△24,660
雇用調整助成金の受取額	94,123	1,397
法人税等の還付額	—	85,148
法人税等の支払額	△110,153	△110,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	700,398	△360,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,009	△12,006
有形固定資産の取得による支出	△38,265	△70,024
無形固定資産の取得による支出	△5,151	△1,362
投資有価証券の取得による支出	△4,604	△4,705
敷金及び保証金の差入による支出	△45,680	△32,289
敷金及び保証金の回収による収入	9,266	41,422
その他	△3,940	△33,825
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,384	△112,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△300,000	49,700
長期借入れによる収入	2,900,000	1,950,000
長期借入金の返済による支出	△2,137,697	△2,099,636
長期未払金の返済による支出	△281,965	△238,768
配当金の支払額	△64,261	△59,326
自己株式の取得による支出	△21,390	△28,620
その他	53	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,739	△426,809
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	694,752	△899,897
現金及び現金同等物の期首残高	2,427,582	3,122,334
現金及び現金同等物の期末残高	3,122,334	2,222,437

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	892円89銭	824円75銭
1株当たり当期純損失(△)	△76円01銭	△49円02銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純損失		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△189,108	△124,446
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△189,108	△124,446
普通株式の期中平均株式数(株)	2,487,784	2,538,459
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権)(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,340,863	2,174,743
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	82,023	74,131
(うち新株予約権(千円))	(82,023)	(74,131)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,258,840	2,100,612
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,529,801	2,546,951

(重要な後発事象)

該当事項はありません